

湖都にふさわしい景観

- 近江八景(琵琶湖と東海道)でつながる草津市との広域景観連携の推進
 - ▶ 両市長による「びわこ大津草津景観宣言」への調印と地方自治法に基づく「びわこ大津草津景観推進協議会」の設立
- 大津市、草津市共同デザインによる東海道案内看板の設置
 - ▶ びわこ大津草津景観推進協議会による東海道統一案内看板専門部会の創設と商標登録されたロゴマークをデザインしたモデル看板の設置
- 大津市と草津市が共有する景観基本計画の策定に向けた「びわこ大津草津景観推進協議会」の景観協議会への移行
 - ▶ 隣接する景観計画区域が連携し、共同して一つの景観協議会を組織することが可能となるよう、両市議会合同で国土交通省に要望活動を実施。意向を踏まえた形で景観法運用指針が改正される。
- 地域の特性に応じた高さ規制の強化
 - ▶ 「近江新八景ルール」に基づく高度地区の拡充
- 市民、事業者との協働による電柱などに貼られた違法な貼紙の効果的な除却
 - ▶ 違反広告物除却ボランティア「大津まちなかスッキリ士隊」の創設
- 古都大津の風土、風景に見合う優良広告物を顕彰する制度の創設
 - ▶ 「キラッとのおつ景観広告賞」の創設
- 景観法に基づく景観重要建造物の指定
 - ▶ 地域の個性ある景観づくりの核として、旧大津公会堂などを指定



大津市議会・草津市議会連携推進会議 議長として、景観法運用指針の見直しを国土交通省に要望



持ち込みゴミであふれていた回収容器 (JR石山駅前)

環境対策の見直し・強化

- 環境美化センターにおいて常態化していた車輛基地の不適切な使用
- 環境美化センター直営によるターミナルゴミ収集事業の見直し
 - ▶ ゴミが散乱するのを防ぐ目的で実施されてきたものの、多量の持ち込みゴミを誘引し、回収容器からゴミがあふれ出る事態が続発。また、駅前とは関係のない場所にも無秩序に回収容器が設置され、実施に多額の費用を要していたことから、事業の廃止が決定。
- 設置目的と運営実態に乖離が見られた伊香立リサイクルプラザのあり方見直し
- 路上喫煙等禁止区域に無許可で設置された灰皿の撤去
- パイオマス資源の活用による資源循環型社会の実現

応援メッセージ

一般社団法人大津青年会議所の後輩でもある谷ゆうじさんから、「大津市のために何か役に立ちたい」として「大津市の将来に憂いを感じている自分は、市全体を見ることのできる、市の将来像を構築できる、そんな政治家を目指したい！」との相談を受けました。当時平成18年、32歳の青年の熱い思いに感銘を受け、私は応援団長を買って出て、後援会を立ち上げ、谷さんの政治活動が始まりました。

谷さんは一級建築士という専門性を活かしつつ、大津市のまちづくりにおける防災、環境、景観の重要性を研究し、3期12年の議員活動に活かされました。その活動姿勢は大津市行政の中や地域の中の問題解決に取り組むだけでなく、滋賀県における大津市の役割や、大津市の何十年先の将来像を考えるなど、大所高所から大津市を見ておられます。「千里の道も一歩から」少し頑固な所もありますが、実直な谷さんの日々の活動には多くの方が共感されており、その積み重ねが大きな成果を生むことを後援会の皆様共々期待しております。

谷ゆうじさんは、すぐれた専門家であり、議会の役割をよく知る議員であり、なにより大津市を愛する市民です。また、私にとっては、議員向け研修や研究会を開催する「政策議会研究所」で一緒に活動する、頼りになるメンバーで信頼できる友人でもあります。谷さんの議員としての活動を見ていただければ、都市、景観、暮らしをめぐる公共課題に高い見識と熱い情熱をもってとりにくんでいること、議会と議員が果たすべき仕事に真摯にむかっていることがお分かりいただけると思います。「政策」と「自治」の両方に深い理解と広い実践をもつ、大津市民のみなさんの信頼にふさわしい方として、谷ゆうじさんを心からご推薦申し上げます。

私は、かつて草津市で公務員をしていましたが、当時、谷さんが琵琶湖と東海道の景観整備を広域的に進めたいと相談に来られ、大津市と草津市が連携するまちづくりについて大いに語り合いました。この事例は、早稲田大学マニフェスト研究所主催のマニフェスト大賞を受賞され、大きな評価を得られています。こんな専門性を活かした議員の存在も、大津市の強みだと思います。私も、その後、甲賀市議会議員になりましたが、谷さんの正義感、市民生活の向上のための行政に対する厳しい姿勢に少なからず影響を受けています。

今、県下の市議会議員有志と党派を超えた「おうみ政策議員フォーラム」を立ち上げ、私が代表、谷さんが副代表としてともに活動しています。大津市のためにも、滋賀県のためにも谷さんの役割は大きいものと期待しています。



谷ゆうじ後援会 会長 今井 正人



龍谷大学 政策学部教授 土山 希美枝



おうみ政策議員フォーラム 代表 林田 久充

大津・まもり隊

ご挨拶



木々の葉も少しずつ色づき始め、秋の深まりを感じる季節となりました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。大津市議会においては、9月から10月にかけて、前年度における決算関連議案の審査が行われました。事業予算が適正かつ効率的に執行されたかとはもとより、大津市総合計画に掲げられた施策の推進にどういった効果を及ぼすものであったのか、次年度の予算編成を見据え、是々非々の姿勢で指摘、提言を行いました。財政規律を保ち、行政改革を進めることはもとより大切と認識しておりますが、災害対応拠点の整備など、市民の安全に関する事業については、より一層、積極的に推進されなければなりません。

私は、これまでの間、議案の審査にあたっては、政策形成過程に問題がないかを見極め、実施する目的や期待される成果が不明確な事業費を含む予算案については、積極的に修正案を提出してまいりました。また、選挙時においては公約として「タニフェスト」掲げ、議会における一般質問や委員会での所管事務調査などを通じて、政策の推進や見直し効果的に図られるよう取り組んでいます。

市議会と市長は互いにけん制しながら均衡を保ちつつ、共に市政の発展のために活動しなければなりません。大津市議会は議会改革度調査ランキングにおいて、全国の市議会で1位と評価されていますが、市民の皆様の実感とは相当な開きがあると認識しています。私は、大津市議会を活性化させ、制度や仕組みをより良きものとし、市民の皆様にとって大切なものを守りたいと決意し、大津市議会議員を志しました。これからも負託にお応えするべく、市政運営に対するチェック機能と政策提言・政策立案に関する議会機能の充実強化に率先して取り組んでまいります。

今号の後援会ニュース「大津・まもり隊」は特集号とさせていただきます。これまでの活動を視点ごとにまとめさせていただきました。この度、全面リニューアルいたしましたホームページとあわせて、ご高覧賜わります様、何卒よろしくお願い申し上げます。

大津市議会議員 谷 祐治

谷ゆうじ 自己紹介

経 歴

- 昭和48年 大津市に生まれる 大津市立志賀小学校・唐崎中学校 卒業
- 平成4年 滋賀県立石山高等学校 卒業(平成28年より同窓会副会長)
- 平成8年 近畿大学 理工学部建築学科 卒業
- 平成8年～ 建築設計監理業務に従事
- 平成12年 一級建築士 免許登録
- 平成15年～ 特定非営利活動法人 滋賀県健康福祉会 理事長
- 平成17年 大津市地域福祉計画策定委員会 委員(平成19年迄)
- 平成18年 大津市景観審議会 委員(平成19年迄)
- 平成18年 滋賀県景観審議会 委員(平成21年迄)
- 平成19年 大津市議会議員 初当選
(これまでの間、防災対策特別委員会委員長、政策検討会議議長等を歴任)
- 平成24年 一般社団法人 大津青年会議所 理事長(平成25年迄)
- 平成25年～ 大津市都市計画審議会 委員
- 平成28年～ 公益社団法人 日本建築家協会近畿支部 滋賀地域会長
- 平成29年～ 大津市議会・草津市議会連携推進会議 議長

受賞・表彰

- 第10回マニフェスト大賞 優秀マニフェスト賞 受賞
- ～近江八景と東海道でつながる大津市と草津市の広域景観連携～
(同大賞実行委員会主催、早稲田大学マニフェスト研究所・毎日新聞社共催)
- 公益社団法人 日本建築士会連合会 第9回まちづくり賞 受賞
- 公益社団法人 滋賀県建築士会 会員表彰 等

所属学会

- 公益社団法人 日本都市計画学会
- 日本災害復興学会
- 日本景観学会

地域活動

- 滋賀学区文化協会 会長
- 大津市消防団滋賀分団 団員
- 大津警察署子ども安全リーダー
- 大津市PTA連合会 皇子山・唐崎ブロック長(平成29年度)
- 志賀小学校 PTA会長(平成28年・29年度)
- 志賀幼稚園 PTA会長(平成24年度)

講演・活動報告等

- 日本景観学会 研究発表会(於 早稲田大学)
 - 講演テーマ「景観から考える古都と湖都」
- 公益社団法人 日本建築家協会近畿支部 都市デザイン研究会
 - 講演テーマ「歴史文化資源を活かした景観形成」
- 一般社団法人 滋賀県建築設計家協会
 - 活動報告「応急危険度判定業務に従事して(熊本地震)」
- 関西大学法学研究所 公開研究会(地方議会研究班) 共催 日本公共政策学会関西支部
 - 活動報告「そもそも、議会活性化とは?」
- 東京農工大学 大学院(農村地域計画学特論)
 - ゲストスピーカー「農村地域におけるNPO活動の展望」
- 龍谷エクステンションセンター 質問力研修 議員アドバイザー等

谷ゆうじホームページ リニューアルのお知らせ



スマートフォン・タブレット端末からも
ご覧いただきやすくなりました。

谷ゆうじ でご覧いただけます。



議会における 指摘・提言の実績



四半世紀に及ぶ塩漬けの結果、地価の下落によって多額の含み損が生じた公共事業代替地（時価評価額を超える利息が発生）

行財政の健全化

- 塩漬け土地の抜本的解消が困難であった大津市土地開発公社の解散
 - ▶ **公社事業資金の借入利息分だけで約8億6,600万（解散時点における試算）の財政効果**
- 業務委託金額の妥当性が問題となっていた外郭団体との関係適正化
- 大津市土地開発基金の適正な運用
 - ▶ **土地開発基金管理審査会の設置と予算計上時における事業課引取り年度の明確化**
- 契約の公平性、競争性、経済性を損ねていた競争入札によらない随意契約のあり方見直し
 - ▶ **「大津市小額工事（委託）の随意契約ガイドラインの策定」**
- ガス小売全面自由化に伴う大津市企業局の経営基盤強化

公正の確保と透明性の向上

- 予定価格に近い価格での落札が常態化していた医療機器契約事務のあり方見直し
- プロポーザル方式の適切な運用に向けて必要となる契約事務運用マニュアルの策定
 - ▶ **「大津市プロポーザル方式の実施に関するガイドライン」の策定**
- 業務実態に見合った清掃作業手当て（特殊勤務手当）の支給適正化
 - ▶ **支給対象業務の明確化と中核市他都市との比較に基づく手当額の減額**
- 公益通報制度や不当要求行為への対応について規定する条例の制定
 - ▶ **コンプライアンス推進室設置のもと、「大津市職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例」が制定**
- 議員が政治倫理基準に違反して市職員等の公正な職務を妨げないようにするための取り組み
 - ▶ **大津市職員等の公正な職務の執行の確保に関する条例施行規則の改正**
（第6条 不当要求行為に対する対応「コンプライアンス推進員は、不当要求行為が大津市議会議員が関与しているおそれのある場合は、議会局長へ情報を提供しなければならない。」）
- 市長等による予算査定の実態の可視化
 - ▶ **透明性確保と説明責任を果たす策の一つとして、事業費ごとの予算編成過程を大津市ホームページにて公表**
- 本庁舎における防犯・監視カメラの適正な設置・運用
 - ▶ **大津市として適切に対応するため、設置・運用に関する所管を総務部管財課に統合**

公共施設の適切な維持更新

- 老朽化への対応が不十分であった都市公園・児童遊園地における遊具の適切な維持管理
- 民間に指導する立場にありながら建築基準法に違反する庁舎執務室の是正
- 赤字経営により廃止された大津びわこ競輪場跡地の利活用
- 安全点検が不十分であった横断歩道橋の健全性確保
- 耐震強度が不足する建物（解体予定）で開設されている市民病院・院内保育所の速やかな移転整備
- 市有施設における擁壁の適切な維持管理



高欄の腐食が著しい横断歩道橋（国道1号）

防災力・減災力の向上

- 大地震発生時における災害対応拠点でありながら、機能空間を確保するための耐震性能を有していない庁舎本館棟・別館棟（中消防署）の安全性確保
- 生存空間の確保を目的とした庁舎本館棟における応急的な耐震補強工事の実施
 - ▶ **来庁者や職員の生命を守るための柱材耐震被覆の施工**
- 地震被害の軽減に資する家具転倒防止対策の推進
 - ▶ **福祉施策の一環として、家具転倒防止器具取付事業を継続実施**
- 市民センターにおける災害対応力の強化（自治体OB職員による支援体制の構築）
- 大規模盛土造成地分布マップの周知と普及推進
- 自衛隊への災害派遣要請を想定した危機管理体制の見直し
 - ▶ **企画調整課から災害対策本部を運営する危機・防災対策課への対応窓口移管**
- 地震発生時における避難所の円滑な開設に必要な支援体制の充実強化



大津市消防局中消防署（庁舎別館）

誰もが安心していきいきと暮らせる社会

- 市民センター機能（支所機能＋公民館機能）のあり方検討に伴う方針の見直し
- 障害者差別解消法の趣旨を踏まえた市有施設におけるバリアフリー化のさらなる推進
 - ▶ **公共施設バリアフリーチェックリストの作成と利用する側の立場に立った障壁の検証**
- 障がい者、難病患者、要介護高齢者、妊産婦及びけが人など移動に配慮が必要な方が利用しやすい駐車区画の増設
 - ▶ **大津市役所本庁舎駐車場における「思いやり区画」の増設**
- 危険な状態のまま無許可で放置されてきた広告付きバス停ベンチの撤去
- 市民、事業者からの寄付によるベンチを大津市が設置管理する制度の創設



寄付により設置されたバス停ベンチ（JR大津駅前）

子育てと子どもの成長を支える環境の充実

- 公立幼稚園のあり方基本方針に基づく3年保育の導入
- 市職員保育士の減少に伴う児童発達支援事業等への影響が懸念される公立保育園民営化方針の見直し
- 新瀬田浄水場用地内に開設されている東部子ども療育センターの持続可能な運営
- 子どもが利用する市有施設（保育園、幼稚園、小中学校、図書館、児童クラブ、児童館等）での室内空気汚染による健康被害の未然防止
 - ▶ **「子どものための化学物質対策ガイドライン」の策定**
- 通学路における安全対策の強化



健康増進対策の推進

- 認知症サポーターの育成とかかりつけ医と連携した認知症対応システムの整備促進
- 総合的な健康増進計画である「健康おおつ21」の推進
 - ▶ **民間店舗や事業者との連携強化を図る「健康おおつ21応援団」の創設**
- 地域包括ケアシステムを構築する上で重要な役割を果たす介護予防・日常生活支援総合事業の推進
- 厚生労働省が推奨するスマート・ライフ・プロジェクト（適度な運動、適切な食生活、禁煙）の推進
- 大津市が開設する公園や街路等における農業・殺虫剤の適正使用
 - ▶ **「大津市施設等における農業・殺虫剤等薬剤適正使用ガイドライン」の策定**
- 化学物質過敏症（シックハウス／シックスクール症候群）対策に資する指針の策定
 - ▶ **「市有施設の室内等における化学物質に関するガイドライン」の策定**



健康おおつ21シンボルマーク「おおつげんき丸」

生涯学習・文化・スポーツの振興

- 大津市文化振興ビジョンの実行性を高めるために必要となる庁内連携体制の強化
- 市民から支持、共感される大津市図書館の基本的運営方針の策定
- 市民運動広場に設置されているトイレの洋式化促進
- 耐震化が図られていない皇子が丘温水プールの更新整備方針の策定
- 有料公園施設におけるインターネットを活用した予約システムの導入検討
- 都市公園条例の定めのない時間区分での利用料金設定の見直し



市民交流・観光交流の広がりによる地域活性化

- 大津市観光交流基本計画の推進につながる効果的な情報発信
- 近代化産業遺産（旧琵琶湖ホテル・琵琶湖疏水・旧逢坂山トンネル）を活用した観光交流の創出
 - ▶ **びわ湖大津館（旧琵琶湖ホテル）の機能充実に伴う利活用の促進**
- 旧大津公会堂ホール・会議室利用者を対象とした周辺公共駐車場における割引サービス（大津市は駐車料金を負担することになるものの、赤字経営が続く駐車場事業（特別会計）にとっては収入増となり、常態化している一般会計からの繰り出し金は減額され、相殺によって実質、支出増にはつながらないと提言。）
 - ▶ **明日都浜大津公共駐車場、浜大津公共駐車場の利用により駐車料金90分無料**



びわ湖大津館（旧琵琶湖ホテル）

将来都市像の実現

- 堅田駅西口土地区画整理事業の保留地販売に必要な不可欠となるまちづくり像の明確化
- 中心市街地活性化基本計画との整合性が図られていなかった街並み博物館通り構想の見直し
 - ▶ **街並み博物館条例の廃止と大津祭曳山展示館条例及びまちなか交流館条例の制定**
- 歴史文化基本構想（※1）と歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画（※2）の策定
 - ▶ **歴史的風致維持向上協議会設置のもと、2019年度中を目途に策定予定**
※1 文化財をその周辺環境まで含めて総合的に保存活用するための基本的方針
※2 国による支援を受けながら、歴史まちづくりに係る様々な取り組みを効果的に進めるための計画
- 交通広場用地として取得されながら半世紀近くも暫定利用が続くJR大津京駅西口の整備方針見直し
 - ▶ **東口広場との機能分担を踏まえた土地利用のあり方について、検討が開始される**
- 都市再生推進法人に指定された株式会社まちづくり大津（大津市出資法人）との連携強化
- 設置から40年近くが経過した大津駅前都市改造関連施設整備基金の効果的な活用（寺町通り・大津駅前商店街のさらなる活性化に資する活用）



暫定利用が続くJR大津京駅西口